

# 眼瞼下垂症について

目が開きにくく、まぶたが重いという状態です。

それとともに眉毛が高く上がり、おでこに深いシワが生じるようになります。

まぶたの縁には瞼板という固い組織があり、この瞼板にまぶたを挙上する筋肉（上眼瞼挙筋）が付着しています。この筋肉の働きが瞼板に伝わらなくなると、まぶたが開きにくくなります。

眉毛が高くなり、おでこにシワができるのは、他の筋肉（前頭筋）が代わりに過剰に働いているからです。これにより肩凝り、頭痛、自律神経失調症などが生じることもあります。

## 原因

- ・先天性（上眼瞼挙筋の機能不全、欠損）
- ・加齢（皮膚のたるみや上眼瞼挙筋のゆるみ）
- ・コンタクトレンズの長期使用
- ・アレルギー疾患などで、目をよく擦る刺激

## 治療

原則として、1泊入院で局所麻酔の手術を行います。

保険適応があります。

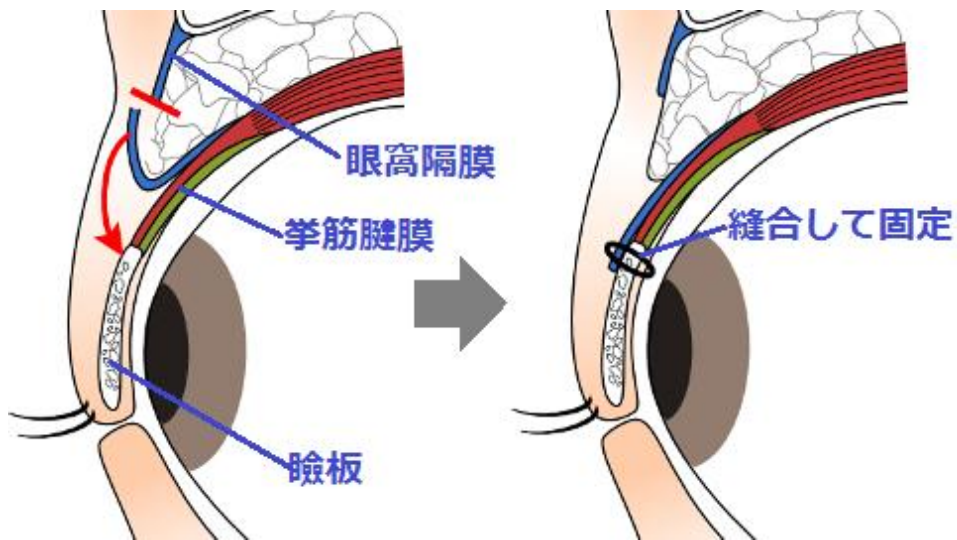
手術の方法は、診察して、患者さんの希望や状態に合わせて決定します。

## 手術

手術時間	1～2時間
術後通院	1週間後に抜糸、1ヵ月後、3ヵ月後、6ヵ月後
洗顔・シャワー	翌日より可能
合併症	まぶたの大きな腫れ、内出血、左右差

- ・まぶたの大きな腫れ、内出血は、必ず改善しますが、術後2～3週間はかかります。
- ・多少の左右差は生じることがあります。大きく異なる場合は、再手術を行って、修正します。

## 挙筋腱膜前転術



その他に、眉毛下の皮膚切除による上眼瞼リフト、大腿筋膜の移植による吊り上げ術があります。



術前

術後

まぶたが開き、眉毛が下がり、おでこのシワが浅くなっています。

悩んでいる患者さんがいらっしゃいましたら、厚生連高岡病院の形成外科を受診して頂ければ幸いです。